

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
L304	地域計画学	3年	講義	2	西山弘泰
授業概要 地域計画とは、都市や農村、山林などを含めた国土や地域の開発、利用、保全のための計画を指す。本講義では、国土、農村、都市、首都圏というような社会・経済的スケールごとに、どのような計画がなされ、どのような課題が残されているのかを学んでいく。なお、本講義では身近な栃木県や宇都宮市をできるかぎり事例として扱っていきたい。					
到達目標(学習の成果) 地域の状況、スケールの違いに応じた地域課題の解決方法やその難しさについて知ることができる(DP2, DP3)。本講義は、自治体職員を目指す学生に対し受講を勧める。なお、栃木県や宇都宮市の総合計画については、実際に計画策定に関わっている担当職員からその概要について講義を受けることを予定している。					
授業計画					
回	表題	学修内容			
1	地域計画学とは何か	地域に関する定義と地域計画の概念について考える			
2	国土を取り巻く課題	現在日本が抱える少子高齢化や人口減少、エネルギー、地域・経済格差など日本を取り巻く諸課題について学ぶ			
3	国土計画の歴史	戦後はじまった全総(一全総から五全総)の展開とその功罪について学習する			
4	現在の国土計画	『国土のグランドデザイン 2050』の解説とその有用性、課題について考える			
5	首都圏を取り巻く課題	戦後、特に都市化が激しかった 1960 年代から 90 年代までの首都圏における諸課題について学ぶ			
6	首都圏整備法	第 1 次首都圏基本計画から第 5 次首都圏基本計画の概略について学ぶ			
7	ニュータウンの建設	多摩ニュータウンを中心に、東京周辺に建設された郊外住宅地の開発過程やその理念について学ぶ			
8	都市再生特別措置法	都市再生特別措置法が大都市にもたらした功罪について考える			
9	地方自治体の地域計画①	栃木県の総合計画の内容を知る			
10	地方自治体の地域計画②	宇都宮市の総合計画の内容を知る			
11	地方農村地域を取り巻く課題	少子高齢化と人口減少によるコミュニティ衰退、農村景観の崩壊といった地方農村地域が置かれた現状について学ぶ			
12	農山村の地域計画	農山村地域の振興を図るための農業農村整備事業の役割について学ぶ			
13	都市と農村の融合	ハワードの田園都市構想の概念やしぐみについて学ぶ			
14	国を超えた地域計画	EU 加盟地域における地域政策・計画の可能性と難しさについて考える			
15	まとめ	14 回の講義の中で特に重要と思われる事柄に関して復習を行う			

準備学修(授業外の自己学修)
 復習課題や予習課題を準備するので受講生は必ず取り組むこと

成績評価の方法・基準(%表記)
 毎回提出するワークシートの結果(50%)、期末レポートの結果(50%)によって判断する

観点	S	A	B	C
地域課題の解決方法についての理解	完全に理解している	ほぼ完全に理解している	十分に理解している	一定程度理解している
地域課題をさまざまな資料から読み取る能力	完全に読み取ることができる	ほぼ完全に読み取ることができる	十分に読み取ることができる	一定程度読み取ることができる

教科書
 なし。

参考書等
 国土交通省(2014)『国土のグランドデザイン 2050』
 宇都宮市(2008)『第5次宇都宮市総合計画』
 栃木県(2011)『栃木県重点戦略 2011～2015 新とちぎ元気プラン』

履修上の注意・学修支援
 本講義は講義形式ではあるが、学生には主体的な参加を期待したい。授業中に学生に対してできるだけ問いかけを行うよう努める。逆に学生に対しては感じたこと、疑問に思ったことがあれば講義中であっても発言を許可したい。